

あれんじの屋根

施設長より

「差別や偏見をなくすにはどうしたらよいのだろう」

JR通学をするある特別支援学校高等部の生徒さんが、列車内で他の高校生に取り囮まれて、ひどいことを言われてバカにされているのを、子ども育ちの家「て・い・く」（育成会の障害児通所支援事業所）を利用してAくんが見て、「て・い・く」に伝えてきました。特別支援学校の生徒さんは自力でJR通学ができる人ですが、話からはどうも特性を持つ人のようです。からかっただときの反応が面白かったのでしょうか、当の生徒さんに取ってはとんでもないことです。「て・い・く」の所長は、特別支援学校の元校長。直ちにその学校の校長に伝え、対応をお願いしたそうです。

一般の高校生が特別支援学校の生徒をばかにしたり差別したりする、とても残念で悲しいことです。一方、この話を「て・い・く」所長に伝えたAくんは立派でした。様々な実態、年齢の子どもたちが共に活動をする「て・い・く」の療育の成果の現れでしょう。

この話には続きがあります。話を聞いた一人が、「〇〇高校なら、あんまり変わらんのにね。」とつぶやきました。これもよくある偏見に満ちた発言。即座に、「どこの高校の生徒でも同じ。そんなことを言ってはいけない。」と別の人からたしなめられました。高校生が、特別支援学校の生徒をばかにし差別する、ところが今度は、知らないところで自分たちが差別される。それも、差別を受ける側にいることが多い障がいのある子どもの親から。皮肉であると同時に、これも残念で悲しいことです。誰であろうどんな形であろうと、差別は差別、絶対に許されるものではありません。

書き遊ぶ

「上からと下から」

ゆうゆう会会長の瀬上です。

熱中症予防や不要外出控えなどで猛暑を乗り切りましょう。

早朝、散歩から帰ってくると町内ゴミ置き場に1台の車がスッと停まりトコトコと知らない人が降りてきて大きなゴミ袋をポンと置き去りました。他の町内的人が通勤途中で捨てたのです。自分のところには出さずに！ 時々ルールを守らない人がいるので誰だろうとずっと不思議でした。

さて、庭木の剪定をした後、切り枝や葉っぱをゴミ出しするとき、これって燃えるゴミかなと一瞬思って調べたら、普通の透明袋に出すようにと書いてありました。

我が国では、特に明治以降、勉強や努力で立身出世を果たした人がとても尊敬を受ける風土や価値観があります。極貧の中で苦学し医学で世界的に名を馳せた野口英世は千円札にもなりました。出自ではなく本人の努力が評価されるのはとてもよいことだと思います。

が、その裏返しとしてなのか、そうでない人を見下すといった心理が働くのもよくあること。障がいのある人、特に知的に障がいのある人々は、小さい頃からずっと、「できない」「分からない」「遅い」という評価を、親や教師、同級生や友だちなど周りの人から受け、他の人よりも一段低い存在として見られてきたのではないでしょうか。どこの高校かで判断されるのも同じ根っこからでしょう。こういう長い歴史に根ざす差別や偏見が根底にあっての前述のJR列車内の話や「〇〇高校なら……」の話なのだろうと思います。自分自身を含め、このような価値観や見方から早く解放されたいものです。

障がいのある人に話を戻すと、関係者が頼みにするのが、障がいのある子どもとない子どもが直接ふれあい共に学習を行う「交流及び共同学習」。学習指導要領にも障害者基本法にも明記されていますが、残念ながら経験した人は僅かというのも事実です。

障がいのある人に対する差別や偏見をなくし、障害者基本法が謳う相互理解や障がいのある人もない人も共に生きる共生社会の実現には、まだまだ時間がかかりそうです。



では、除草や芝刈りの場合はどうかなと見たら、こちらは熊本市の指定有料袋に入れるようにと書いてありました。・・・エッ！ 違うの？

市役所の清掃課に尋ねると意外な答えが返ってきました。「上から落ちてきたものは透明袋に入れて無料です。下から生えたものは有料の燃えるゴミ扱いになります。」とのことでした。上からと下からとで区別されていたのです。

訳が・・・訳が分かりませ~ん！





今年の食べバーガーの内容は…アメリカンドッグ、焼きそば、ハリケーンポテト、ヘルギーワッフル等々。お腹を満たした後は職員考案のコイン落とし、人間もぐらたたきなどのゲームで盛り上がりました。



熊本デザイン専門学校へ出前講座行ってきました~

数年前に熊本デザイン専門学校の先生より、総合デザイン論の授業で「しょうぶの里のアート活動」について講義をしてほしいといふお話をいただきました。

今年は6月下旬にお伺いし、アート活動を始めた経緯、作家さんのこと、作品制作の様子、またアート活動を立ち上げた開設当初の職員の想い、その想いがきちんと受け継がれているか等々、自問自答しながら生徒さんに伝えています。

私の話にしっかり耳を傾けノートをとる姿には感謝の気持ちでいっぱいになります。

志賀祐子



給食室より



イベントメニュー



- 8月 4日(金) 白くまコンテスト
- 8月 9日(水) 誕生会
- 8月 17日(木) リクエストメニュー
- 8月 23日(水) 手作りおやつ
- 8月 29日(火) リクエストメニュー



《白くまコンテスト》



しょうぶの里では今年も白くまコンテストを開催します。かき氷に好みのシロップやかけ、カットフルーツやビスケットをトッピングします。利用者さんのセンスが光る色とりどりの“白くま”を毎年見るのが楽しみです。

今年のグランプリは誰でしょう??



管理栄養士 厚地

《8月の行事予定》

- ☆ 3日(木) 訪問歯科
- ☆ 4日(金) 白くまコンテスト
- ☆ 7日(月) 研修会
- 星 8日(火) 吉村さんのお話会
- ☆ 9日(水) 誕生会
- ☆ 10日(木) 訪問歯科
- ☆ 11日(金) 山の日
- ☆ 14日(月) ~15日(火) 休日日課
- ☆ 17日(木) 訪問歯科
- ☆ 21日(月) 職員会議 給食委員会
- 星 24日(木) 訪問歯科
- ☆ 27日(日) 市育成会定期大会

※予定ですので変更になることがあります。了承ください。

医務室より

熱中症予防のために

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体内に熱がこもった状態をいいます。

救急搬送される方の約5割は屋内で発症しているのが現状です。危険なのは屋外だけではありません。屋内でも、のどが渴いてなくてもこまめに水分・塩分・スポーツドリンクを補給しましょう。

《熱中症の症状》

軽度の場合...

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、こむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感などいつもと様子が違う。
- 重症になると...
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い



※熱中症を疑う人にはペットボトルを渡して自分でフタを開けられないと重症です。

すぐに救急車を呼びましょう!!

看護師 武田

~~第75号~~

令和5年7月25日発行

発行元 しょうぶの里

熊本市西区小島9丁目14-58

TEL (096) 311-4588



～編集後記～

今から季節の旬な食べ物といつたら买的にはスカとゴーや!

スイカは赤い果肉の部分もおいしいのですが我が家では白い部分の「スイカ潰け」が大好きでそれを作るためにスイカを食べててるようなものです。

それからゴーヤ。子どもの頃、七父が好きでよく食卓に上がっていましたが当時はとても口にすることができませんでした…が、今では毎日でも食べたい野菜の一つです。これから夏本番!旬の野菜を食べて乗り切りましょう(^^)/

